

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 3 月 30 日

所属	学長付	職名	教授	氏名	伊藤 宏一
研究課題	金融ウェルビーイングとウェルビーイング経済、金融教育と中立的アドバイザーの養成				
研究キーワード	金融ウェルビーイング・金融教育	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	12. つくる責任 つかう責任	1. 貧困をなくそう	
1. 研究成果の概要 金融経済教育については、千葉学園において、全国初である高大連携金融経済教育を準備し、日本 FP 学会において 2 名の先生と共に大学・高校での金融教育実践の成果と課題について報告、討論を行うことができた。またこの内容は FP 学会学会誌に本 2024 年度末(2025 年 3 月)に掲載された。 金融ウェルビーイングとウェルビーイングについては、講演で自説を展開したが、論文としては 2024 年度に完成・発表する予定である。					
2. 著書・論文・学会発表等 【著書・論文（査読なし）】 特になし 【学会発表等】 学会報告と学会討論・学会誌掲載					
1) 「従業員エンゲージメントの向上と金融経済教育—従業員に必要な 3 つの金融能力 リテラシー・コンピテンシー・ケイパビリティ」『ファイナンシャル・ウェルビーイング』創刊号・巻頭言 2024 年 4 月 17 日 同上再掲 https://news.goo.ne.jp/article/finasee/business/finasee-13371.html					
2) 日本 FP 学会 2024 年 9 月 21 日報告『パネル討論「関西における金融経済教育の推進と課題」の背景と論点』					
3) 同上掲載:日本 FP 学会学会誌『ファイナンシャル・プランニング研究』no.24 2025.3.31 刊行					
【講演・授業】					
1) 2024 年 6 月 28 日「サステナビリティ時代の金融経済教育」消費者教育シンポジウム 主催:公益財団法人 消費者教育支援センター					
2) 2025 年 2 月 13 日及び 20 日 千葉商科大学附属高等学校における千葉商科大学進学生(約 90 名)に対する金融経済教育実施 千葉商科大学における「生活と金融リテラシー1」の授業、1 日 4 科目で 2 日間、並びにオンデマンド教材による自宅学習を併せ、レポート等の提出により成績評価と単位認定を行った。					
【その他】					
1)2025 年 2 月 25 日「長寿経済と金融ウェルビーイングのために」(ダイヤニュース巻頭言 2025 no.115 公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団)					
2)2025 年 3 月 30 日 書評『Earth for All 万人のための地球—『成長の限界』から 50 年 ローマクラブ新レポート』(「ファイナンシャル・プランニング研究 2024 No.24)					
3. 主な経費 特になし					

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

1) 2025年度開始の本学基盤教養機構における必修科目「生活と金融リテラシーI」の準備

2025年度秋学期より、基盤教養機構における必修科目として「生活と金融リテラシーI」が実施される。1500名の受講生に対して私をはじめとする6名の講師体制と授業テキストの整備、金融経済教育推進機構(J-FLEC)との連携等について、系統的な準備を行った。講師陣については、私以外に客員准教授1名、兼任講師4名の選出と手続き等を行った。なお講師陣のうち2名は、金融経済教育推進機構（J-FLEC）における認定アドバイザーとなっている。